

# みやぎ街道交流会

## 第1回交流大会 *in* 栗原 報告書

日時：平成19年11月17日（土）

平成19年11月18日（日） 探訪会

会場：ほたるホール[栗原市役所金成庁舎]

ウエットランド交流館・百笑村レストラン



・「みやぎ街道交流会 第1回交流大会 in 栗原」を終え . . . . . 1	・ 参加状況 . . . . . 10
・ 大会報告 . . . . . 3	・ 参加者アンケートの結果 . . . . . 11
・ 第1部 交流大会 . . . . . 3	・ 大会開催までの歩み . . . . . 16
・ 第2部 街道談義 . . . . . 6	・ 新聞記事 . . . . . 17
・ 街道探訪会 . . . . . 8	

主催 みやぎ街道交流会  
共催 くりはら街道会議設立世話人会・若柳金成商工会  
町づくり委員会・NPO法人奥州街道会議

後援 羽州街道交流会・三宿地域連携協議会・ふくしまけん  
街道交流会・とうほく街道会議・栗原市・宮城県・  
国土交通省仙台河川国道事務所  
協賛 (株)ゆめぐり

## 「みやぎ街道交流会 第1回交流大会 in 栗原」を終えて

「みやぎ街道交流会」の「第1回交流大会 in 栗原」は、地域の皆様のご支援を得て盛会裡に終わることが出来ました。皆さんが力を合わせればこのように盛り上がるのかということを感じた二日間でした。

大会冒頭の挨拶で、私は次のようなお話をしました。今までの文化財や街道・史跡への接し方は、点やラインの文化が中心でした。具体的には、点としての金成の史跡・有壁本陣などで、その点と点を結ぶのが街道です。この道は、古代以来多くの人や物が流通し、歴史が形成され、文化が育ってきました。

この点やラインの外に、皆さんが参加する「面」の文化があります。静かな池に投げられた小石は波紋を広げていきます。私は「点・線・面」が大切であると思います。

そして、面については、「K・M・T」の3点セットと申し上げました。地域の方が「郷土」を愛し、歴史に「興味」・「関心」を持つと、今まで見えなかったものが見えるようになります。これが「K」です。そうするともっと知りたいたと、頭や体が動き始めます。炉辺談話があったり、サークル活動などが生き生きとしてきます。これがムービングの「M」です。その「語り合い」や「踏査」は「楽しい」に越したことはありません。「T」です。大会第2部の盃を傾けながら、時のたつのを忘れて語り合った「街道談義」はその最たるものでしょう。

挨拶で割愛しましたが、交流の輪が広がることによって、文化財の保護・継承につながります。10月に私は岩手県一戸町の奥州街道に、多くの一里塚が残っていることに興味を持ち出かけてきました。案内してくれた人が「中山一里塚の東塚は昭和50年代になくなり。間宿（あいのしゅく）中山の間口19間、奥行き9間、明治天皇もお休みになった家が、3軒の家に造り替えられました」と聞き、交流会があれば保存されたのにと感じました。

「みやぎ街道交流会」は、「第1回交流大会 in 栗原」で学んだことを生かし、地域の活動とタイアップして進んでいきたいと思っています。

みやぎ街道交流会 会長 高倉 淳

## 大会テーマ

『伊治城から明日の栗原を“熱つつぐ”考え  
旧奥州街道を通じて栗原の魅力を発見！』

## 大会プログラム

11/17  
土

### 第1部 交流大会

ほたるホール《栗原市役所金成庁舎》

- (1) オープンセレモニー [13:00～13:10]  
主催者挨拶 みやぎ街道交流会 会長 高倉 淳 氏  
来賓挨拶 栗原市長 佐藤 勇 氏
- (2) 基調講演 [13:15～14:45]  
「東北の古代史における栗原地方の役割」  
～伊治城と伊治公砦麻呂から何を学ぶか～  
東北歴史博物館 前副館長 白鳥 良一 氏
- (3) 活動報告 [15:00～16:15]  
おくの細道松島海道「芭蕉の道を辿り、住時を偲ぶ集い」  
おくの細道松島海道 代表 京野 英一 氏  
NPO 法人奥州街道会議の取り組み  
NPO 法人奥州街道会議 事務局長 安藤 美樹 氏  
街道をめぐる東北各地の取り組み  
みやぎ街道交流会 事務局次長 山屋 敏英 氏
- (4) 栗原地方の旧奥州街道について [16:15～17:00]  
全般と金成地区  
栗原市文化財保護審議会 委員 菅原 昭治 氏  
高清水地区  
栗原市高清水文化協会 会長 兵藤 博行 氏

### 第2部 街道談義

ウエットランド交流館・百笑村レストラン

- (5) 街道談義（立食パーティー） [18:00～20:00]

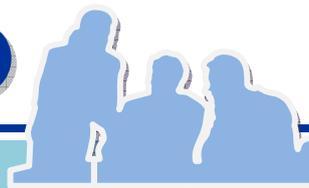
11/18  
日

### 第3部 街道探訪会

[9:00～15:00]

栗原市高清水から金成（岩手県境付近）までの旧奥州街道、旧有壁本陣及び周辺の地域資源を地元の方の案内で探訪

## 大会報告



### 第1部 交流大会

場所: ほたるホール [ 栗原市役所金成庁舎 ]

日時: 平成 19 年 11 月 17 日 (土) 13:00 ~ 17:00

#### (1) オープンセレモニー

主賓者挨拶 みやぎ街道交流会 会長 高倉 淳 氏

今日は「みやぎ街道交流会」の第1回目、記念すべき日です。

街道には、「点・線・面」があります。「点」は史跡や本陣などで、それを結ぶ街道が「線」です。それらの背景には「面」があり、この「面」が、とうほく街道会議やこの交流会だと考えています。

「面」に地域が参加し、街道に興味を持つ人たちが徐々に増え、様々な動きに広がっていくことを期待しています。



来賓挨拶 栗原市長 佐藤 勇 氏

第1回交流会が栗原市で開催されたことに感謝し、心から歓迎します。市長として市内各地を歩きまわり、栗原を「観光(光を観る)」という意識で捉え、栗原の良さを見直していこうと考えています。

アドバイザーの協力を得ながら資源調査を行ったところ、地域の方々からも「素晴らしい場所があるので是非調査してほしい」との情報が集まってきました。その中のひとつが「街道」でした。

地元の方々からも「街道」に対する熱い想いが伝わってきました。その想いが、街道交流会という形で具現化され、大変うれしく思っています。



#### (2) 基調講演

「東北の古代史における栗原地方の役割」 ~ 伊治城と伊治公磐麻呂から何を学ぶか ~

東北歴史博物館 前副館長 白鳥 良一 氏

昭和 30 ~ 40 年代まで、古代の東北は野蛮な未開地であると考えられてきました。しかし、その後の遺跡の発掘調査成果によって古代の東北の姿は大きく違うことが分かりました。

栗原地方では、縄文時代には日本を代表する素晴らしい内容を持った集落が出現しています。弥生時代になると南から稲作を伴う新しい文化が入ってきますが、一方では北方文化の影響も色濃く残し、南と北の文化の融合が見られることが大きな特徴と言えます。

「大化の改新」の後、陸奥国が設置されましたが、その範囲は江合川以南まででした。栗原以北は中央国家の支配が及ばない化外の地とされましたが、それはこの地域が弥生・古墳時代をとおして北方文化とのつながりの強い地域であったためと考えられます。

中央国家は、従来からの住民で中央からは蝦夷(エミシ)と蔑まれた人々と、その肥沃で広大な土地を支配しようと、いわゆる「蝦夷征伐」を行います。栗原以北の人々は自分達の土地と生活を守るために必死に抵抗しました。中央政府は「多賀城」の出先機関として築館の北に「伊治(コレハリ)城」を築き、769年には新たに「栗原郡」を置いて蝦夷出身の伊治公磐麻呂を長官にするなどしてこの地域を治めようとしていました。しかし、磐麻呂は朝廷の強引な蝦夷政策に対する不満から反乱を起こし、以後 801 年に坂上田村麻呂が収拾するまで、栗原から岩手県南部の地で 20 年以上に及ぶ激しい戦争が展開され



ました。

歴史的に見ると、古代に大きな権力に敢然と立ち向かったこうした蝦夷達の気概も、栗原という地域の特徴と言えるのではないかと思います。



### (3) 活動報告

#### 「芭蕉の道を辿り、往時を偲ぶ集い」

おくの細道松島海道 代表

京野 英一 氏

1990年代まで、松島町は「日本三景」であることに甘え、松島湾の景勝地を越えた「由緒ある人文的景観」を忘れかけていました。

そこで、町の商店街活性化対策として、松尾芭蕉の『おくの細道』追体験・「芭蕉の道を辿り、往時を偲ぶ集い」を企画、実施にこぎつけました。2002年には15名だった参加者が翌年100名まで増え、今年も「第6回おくの細道松島海道の旅」を実施し、多賀城、塩竈、松島を歩きました。

これまでの観光ツアーと異なり、松島湾岸のあらゆる資源を取り入れた「新しい学術文化思考の旅」であることが特徴です。

とりわけ、芭蕉が記した「月明りの松島」は、世界に通用する荘厳なテーマパークです。今後は世界遺産登録申請に向けて、地域住民の連携による「松島湾文明」を発信していきたいと考えています。



#### NPO法人奥州街道会議の取り組み

NPO法人奥州街道会議 事務局長

安藤 美樹 氏

NPO法人奥州街道会議では、奥州街道沿いの歴史や文化を活かし、そこに住む人々とともに、地域づくりの支援と実践を行っています。

平成18年度には、「奥州街道に関する活動の調査」及び「道に係る活動ネットワークの構築」として「いわて・みち・ネット」の計画準備を行いました。また、岩手県内「奥州街道」沿線の街道資源の情報収集や、ウォーキングツアーを実施しました。

平成19年度は、「交流事業の運営」、「携帯電話を活用したデジタルマップの整備」及び「いわて・みち・ネット」のモデル事業運営を行っています。また、今までに調査した資料をもとにマップを作成し、デジタルマップへの活用を検討するほか、ホームページを開設して活動紹介を行うなど、情報発信にも努めています。



## 街道をめぐる東北各地の取り組み

みやぎ街道交流会 事務局次長 山屋 敏英 氏

我々の交流会は、「歴史好き」だけではなく、「街道を歩くことが好き」、「自然が好き」、「地域づくりやまちづくり活動をしている人」など、そういった人達が集まって、楽しくワイワイやりながら街道を通じて地域を語り合うといった活動を行っています。

街道に係わる団体には様々なものがあります。そこで行われている活動を相互に結び、点から線、線から面へ広げ、地域づくりに発展させていくことが目標です。そのための交流・連携のプラットフォーム的な役割を、我々の団体が担っていければと考えています。

例えば、古道ハイキングやセヶ宿町の「わらじで歩こうセヶ宿」、山形県小国町の埋もれた敷石を発掘するという面白い試みなどにも参加し、学びながら交流を深めています。

また、郷土料理や地酒を楽しむ街道談義を行い、食文化の掘りしも行っています。

今後は、活動を更に広げて、宮城県内の街道関連団体と交流・連携していくとともに、地域資源の調査を行い、奥州街道マップの作成などを検討したいと思っています。

また、来年度の「とうほく街道会議宮城大会」と合併開催が予定されている「第2回交流会」を成功させるなど、様々な活動に取り組んでいきたいと考えています。



## (4) 栗原地方の旧奥州街道について

### 全般と金成地区

栗原市文化財保護審議会 委員 菅原 昭治 氏  
栗原地方の街道

栗原には奥州街道を基軸に、古い街道がいくつも交差しています。西側の方は文字街道、羽後岐街道、小安街道、上街道（迫街道）など、東側は佐沼街道、本吉街道、花泉・金沢（かざわ）街道などがあげられます。それらの古街道には、古い歴史や文化が蓄積され、また伝承されています。そうした歴史に関心を持ち現地を見聞することによって、先人の心に触れたりして街道交流会が盛んになれば幸いです。

### 金成地区の奥州街道

奥州街道の金成地区は岩手県寄りですが、沢辺を経て金成宿に入ると、ここは藩政時代に代官役所があった宿場町で慶長年代から賑わい交通の要衝となった処です。そこから有壁宿に向かう道中には「新鹿野一里塚」、伝説を秘めた「十万坂」の難所坂があります。



【旧有壁宿本陣】

有壁宿には国指定「旧有壁宿本陣」があり、参勤交代など大名方の宿泊、休憩所として金成宿本陣同様に賑わった宿場町です。明治9・14年の明治天皇奥州巡幸の節も立寄り、休憩所になりました。

その先、伊勢堂坂に向い「肘曲がり坂」も難所坂ゆえ、峠道を切り通しにして巡幸行列の車馬等が通り易く改修されたのです。

このように金成地区の街道は、西方から続く丘陵を横断する道程なので起伏の激しい箇所が多くあるのです。また、故事伝説も多く残っている地域です。



## 高清水地区

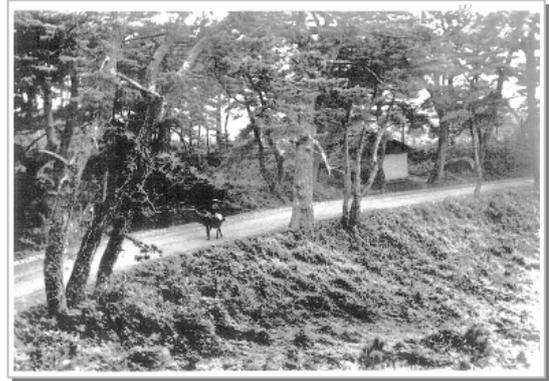
栗原市高清水文化協会 会長 兵藤 博行 氏

奥州街道の高清水地区は、今でも現存している貴重な街道のひとつだと思います。

立街道は、荒谷宿から高清水宿に入る手前の街道で、かつては松並木の美しい街道でした。江戸時代の記録にも、すばらしい松原であると書かれています。ところが、昭和 17 年に旧日本軍の命令で、松根油を製造するために全ての松が伐採されてしまいました。現在の盛岡城址に見られる松の一部には、ここから移植されたものもあるようです。

高清水には陸軍の演習場があり、明治天皇が視察に来られています。また、戦後には昭和天皇も来られています。

このように、高清水にはたくさんの歴史があり、それらは現在も続いています。街道には歴史を感じさせるものが残っていますので、みなさんにも実際に歩いて楽しんでいただきたいと思います。



【昭和 10 年頃の松並木】

## 第 2 部 街道談義

### 開会の挨拶・乾杯の音頭

いよいよお待ちかねの第 2 部：街道談義です！

地域経済学の某教授も自著に“地域づくりは飲みニケーション”と書いていますが、地域交流や連携もまずはここから始まりです。

お忙しい中を駆け付けて頂いた当「街道交流会」幹事の梅津輝雄七ヶ宿町長の開会挨拶の後、共催頂いた「若柳金成商工会町づくり委員会」委員長の小野寺健太郎氏の乾杯で音頭で始めました。



挨拶する梅津幹事



乾杯の小野寺委員長と司会の佐藤事務局長代理

### 地酒自慢

参加者有志の方々の持ち込んだ数え切れないほどの東北の地酒がずらりと会場に並べられました。

地元有壁の萩野酒造(株)さんから寄贈のあった“萩の鶴・奥州街道”や田酒、南部美人、月の輪、鳳陽、森民、奥の松、笹の川の奥州街道沿いの銘酒を初めとする東北各地の地酒が揃いました。

そして、恒例の自ら持ち込んだ自慢の地酒披露を行いました。



東北各地の地酒がずらりと

私の自慢の地酒は・・・

## 江戸料理・郷土料理

今回の料理は、郷土料理の外に若柳有賀の千葉家のご先祖様が150年前の安政4年に書き残した「大秘方萬料理方全」という料理本から、若柳金成商工会町づくり委員会の皆さんにより復元された料理が出されました。

「卵切(ヲリ)」(蕎麦処あべちゅう)、「饅頭」(チロルベーカー)、「南蛮漬」・「雁鴨の煮鳥」(はざま会館)、「常盤味噌」(有賀の里たかまった)の5品です。

忘れかけていた素朴な味がしました。

( )内は調理者又はお店です。



卵切りはソバ？  
うどんのよう？

今回は常盤味噌を手作りこんにゃくと里芋につけて食べました

他にも郷土料理として、レンコンを使った料理、ドジョウ汁やから揚げ、ずんだや沼エビなどを絡めたモチなどの郷土料理を堪能しました。



料理、地酒そして街道談義に花が咲きます。

京野副会長による中締め

## 最後に

お世話になった若柳金成商工会町づくり委員会の皆さんと“たかまった”の千葉さん、ウエットランド交流館・百笑村レストランの皆さん本当に有り難うございました。

## 街道探訪会



### 集 合

集合場所の栗原市役所に朝9時集合。前日からの宿泊組が朝食を食べていた頃、突然雨が降り出し一同ガッカリ。でも皆さんの心がけがよかったのか、市役所に着く頃には上がっていて、ほっとしました。

スタッフも含めた55名の参加者は、2台のマイクバスに分乗して出発です。

朝日に輝く伊豆沼



### 高清水地区

まずは市役所から南下して、高清水へ向かいます。高清水地区は兵藤さんの案内でスタートです。

高清水上萩田は明治14年明治天皇巡幸の御野立所となった処で“御前水”というバス停がその歴史を残しています。立街道はかつて松並木だったのだそうですが、今はもう松は見られません。

その後、奥州善光寺に向かいます。東北では珍しい善光寺は、平泉の藤原基衡が建立したと伝えられているそうです。堂宇の周りはイチョウがとてもきれいに色づいていて、銀杏がたくさん落ちていました。



上萩田では虹ができました



奥州善光寺とイチョウ



八重壁から力石の間は、旧奥州街道を実際に歩いてみます。地域の方が植えてくださったモミジがちょうど色よくなっており、気持ちよく秋を堪能しながらの街道歩きになりました。



旧奥州街道とモミジがいい雰囲気



伝説の力石

## 昼食

いよいよ昼食です。会場の金成公民館は、金成宿本陣のあったところです。楽しみにしていたのは、新名物「そばだんご」。そば粉の団子を入れた汁物で、そば団子のもちもち感がおいしく、体が温まりました。



そば団子とおにぎり



市長も駆けつけてくださいました

## 金成地区

ぶっそうな名前がついている夜盗坂と新鹿野一里塚周辺で金成地区を案内いただいた菅原さんから詳しい説明をお聞きしました。

そして旧有壁本陣。実は外から見学するだけの予定だったのですが、入院中のご当主に代わって、普段は市外に住んでいらっしゃる息子さんがわざわざこの日のために、来ていただき、内部を見学することができました。奥州街道で唯一残っている本陣です。

特別に開けていただいた  
旧有壁本陣



肘曲がり坂

その後、肘曲がり坂を歩いて、ちょうど時間ぴったりに集合場所の市役所に到着しました。結局、心配していた雨は降らず、ケガなどのトラブルもなく無事に終了しました。

## 街道探訪会参加記念グッズ

街道探訪会参加者の皆さんに対して、金成若柳商工会女性部の皆さん手作りの参加記念グッズがプレゼントされました。

旅をイメージする草履と無農薬米の稲穂が米どころ栗原を象徴しています。

参加者及びスタッフの皆さん お疲れ様でした！



## 参加状況

### 地域別、交流会・街道談義・街道探訪会別

2日間で開催された「交流会 in 栗原」。宮城県内外より110名の大勢の方に参加していただきました。

参加者を地域別にみると、一般参加では地元栗原市内からの参加が49名と多く、次いで仙台市内からの参加が21名となりました。会員の参加は仙台市内からの参加が多く12名でした。

そのほか宮城県外より計10名の方に参加していただきました。

プログラム別の参加数をみると、第1部の交流会では99名、第2部の街道談義では57名、翌日の街道探訪会では55名の方に参加していただきました。

「みやぎ街道交流会」として初めての大会でしたが、無事に終わることが出来ました。各方面からの様々な方々のご協力・ご参加をいただき厚くお礼申し上げます。

#### 【地域別】

		一般	正会員	内スタッフ	計
宮城県内	栗原市内	49	1	11	50
	仙台市内	21	12	11	33
	その他	9	8	3	17
	小計	79	21	25	100
宮城県外		7	3	1	10
合計		86	24	26	110

内スタッフは一般+正会員

#### 【全体の参加者】

全 体	一般	正会員	内スタッフ	計
第1部:交流会	75	24	25	99
第2部:街道談義	34	23	25	57
街道探訪会	38	17	18	55
宿泊者	11	16	9	27
延べ参加者 (ダブリ除く)	86	24	26	110



【築館 双林寺薬師堂（瑠璃殿）】



【八重壁～力石間】

# 参加者アンケートの結果



## 1. 交流会の参加者アンケート

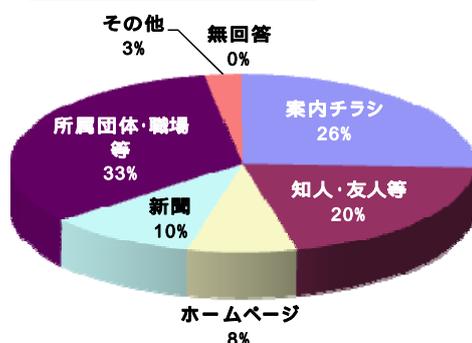
### 回収状況

- (1) 参加者数：99名（うちスタッフ25名）
- (2) 回答者数：36名
- (3) 回答率：36.4%（スタッフを含まない場合48.6%）

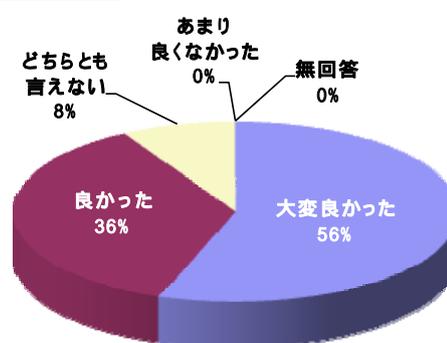
### 交流会の内容の評価

- ・交流会の開催を所属団体・職場等、案内チラシ、知人・友人で知った参加者が多い。
- ・内容は、「基調講演」「活動報告」「栗原地方の奥州街道」いずれも高い評価を得ている。

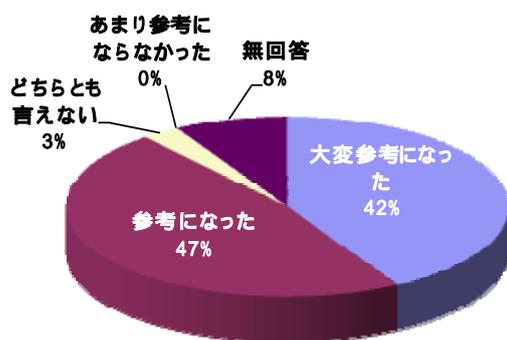
問1. 第1回交流会in栗原の開催を何でお知りになりましたか。(複数回答)



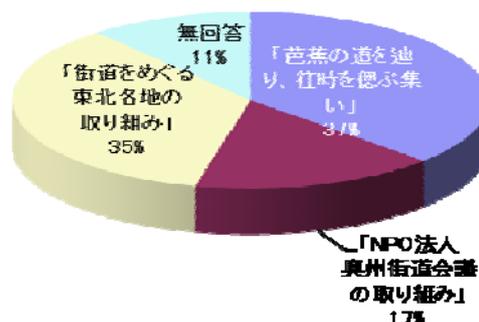
問2. 「基調講演」の内容はいかがでしたか。



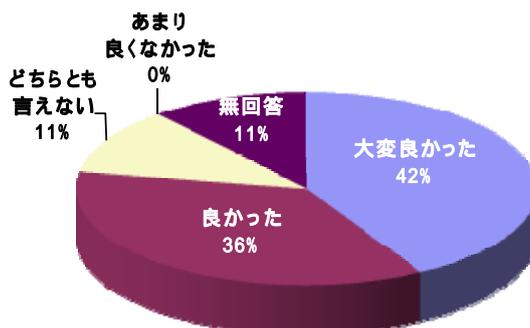
問3. それぞれの「活動報告」の内容はいかがでしたか。



問4. 特に関心のある「活動報告」はどれでしたか。(複数回答)



問5. それぞれの「栗原地方の奥州街道」の内容はいかがでしたか。



## 問2、問4、問5、問6の自由記述回答

### 感想

<b>問2.「基調講演」の内容について</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆様勉強している。業務以外の知識、専門分野に良く取り組んでいる。</li> <li>・東北道、新幹線の開発が東北歴史の見直しの契機となったという説は興味があった。</li> <li>・史実から見た伊治公皆麻呂を知る事が出来て大変よかった。 / ・栗原地方の地理的役割がわかりました。</li> <li>・伊治の由来 / ・地元の人間として大変に勉強になった。 / ・専門的で深みがありよかった。</li> </ul>	
<b>問4.「活動報告」について</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの発表も地域おこしのヒントが多く、面白く聞きました。</li> <li>・1,2,3とも関心が持てる活動報告でした。 / ・様々な活動写真が良かった。 / ・それぞれ良いと思いました。</li> <li>・1.京野氏は話術が上手である 2.デジタルマップ 3.各地の取り組みがよく分かった。又、歩きたい地域の紹介があった。 / ・機会があれば参加したい。 / ・大変簡潔でわかりやすく理解した(情報発信)</li> <li>・活動状況が良くわかった。中には自慢話もあり聞きにくかった。七ヶ宿街道のわらじで歩くイベントは大変に愉しく感じました。</li> </ul>	
<b>問5.「栗原地方の奥州街道」について</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の歴史資源が分かった。 / ・詳細な説明で参考になった。 / ・旧街道が多く残っている事に感動した。</li> <li>・高清水の奥州街道の歴史が理解出来た。 / ・沿道の写真また古い写真が魅力的だった。</li> <li>・高清水地区立街道の歴史、明治以降の変遷、大変興味深く聞けた。写真、絵図が詳しく、松根油、明治陸軍演習等のエピソードは貴重。</li> <li>・9/24には街道探訪会に参加し、知識があったので説明が良く分かりました。</li> <li>・探訪会(11/18)事前レクチャーとして良かった。 / ・地元のくわしい情報で、明日が楽しみです。</li> </ul>	
<b>問6.感想、ご意見などなんでもご自由に記述</b>	
<b>1)活動団体に関するもの</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆様の地道な活動が地域の活性化につながったり、文化財の保存につながると思う。継続が必要と思う。</li> <li>・ほかの地域での活動している人たちの話が聞けてかつ交流できて有意義だった。</li> <li>・色々な団体の取り組みがあることを初めて知りました。 / ・様々な取り組みを知ることができてよかった。</li> <li>・街道について、いろいろな方が取り組んでいることがわかりました。がんばって下さい。</li> <li>・街道への思い入れがひしひしと伝わった。</li> <li>・各地の活動に感心しました。明日参加出来ないのが残念だった(用事の為)</li> </ul>	
<b>2)内容や運営に関するもの</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大変良かった。 / ・参加してたいへんよかった。 / ・街道を歩くための参考になりました。</li> <li>・大変たのしくすごさせていただきました。ありがとうございました。</li> </ul>	
<b>3)次回への期待に関するもの</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回の大会ににも参加したいと思います。 / ・これからも参加したい。</li> <li>・この様な交流会に参加して、とても説明が分かりやすかった。次にも参加したいと思っております。</li> </ul>	
<b>4)その他</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の方、事務局の準備に感謝します。</li> <li>・バス送迎や案内など親切だと思いました。スタッフの皆さんお疲れさまでした。</li> </ul>	

### 意見

アンケート意見	反省及び今後の対応
<b>問2.「基調講演」の内容について</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・尻切れになった東山道について、残念だった(むしろこっちを中心にして欲しかった)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東山道については、たくさんの方々が興味を持っており、今後のテーマとして考えていきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前半～中段が詳細に話されよく判ったが肝心の後段が時間切れのため省略され残念であった。時間配分にご考慮を望みたい。Q&amp;Aの時間も欲しかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分な時間を取ることが出来なかったことをお詫びします。このテーマについては今後も検討して参りたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと聞きたい！ / ・もう少し最後まで聞きたかった。</li> <li>・少し時間が長かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・また、近々設立予定の「くりはら街道会議」もこのテーマを取り上げることを期待したい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・白鳥先生のお話をまとめた文章で是非お願いしたい。</li> <li>・広範囲なので理解することが難しかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめた文章でどの意見についても今後の課題とし、更に理解が深まるようにしたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・この種のスピーカーに一度聞きたいことがあります。それは「貴方はイミの子孫ですか、それとも朝廷側の子孫ですか」ということ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何れの側であっても両面から見られる正しい歴史認識を持つことが必要であると思います。「古代蝦夷の英雄時代」(工藤雅樹著、平凡社)も参考にしてください。</li> </ul>

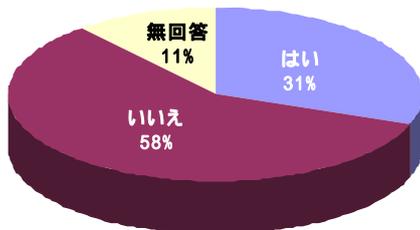
アンケート意見	反省及び今後の対応
<b>問4.「活動報告」について</b>	
・話しを補強する絵図が不足。パワーポイント一枚当たりの情報が多すぎて目で追えない。簡潔にすると良くなる。	・今後は、ご意見を参考にして説明資料をつくっていききたい。
・各地域で実行されている活動報告を知ることが出来た。情報が発信されて、それを受けとめるネットワークが求められる。	・みやぎ街道交流会をはじめとする街道交流連携団体の目指す方向と認識している。
<b>問5.「栗原地方の奥州街道」について</b>	
・地元の詳細な話なのでついて行くのが難しいので、事前に地図配布が必要。 / ・説明内容に工夫が必要。	・スライドと同じ資料が配付されていることを事前に周知しなかったことをお詫びします。
・ローカル色が強すぎて知らない地名(人名)を追い切れない。	・説明が先かor現地が先かの問題は大変に難しい問題で今後の課題としたい。
・地理、地名に不案内であり、現地での説明の方が良いと思う。	
<b>問6.感想、ご意見などなんでもご自由に記述</b>	
・テーマを絞った方が良いのでは？	・今後の参考としていきたい。
・仙台からバスで11時35分につきました。庁舎の中に食堂があるだろうと期待してバスを降りたのですが、見事に期待を裏切られました(´0´)。Coffee&teaが飲みたかったな～。	・会場外の道路向かいに食堂はあったのですが、今後は事前に周知することを検討したい。また、休憩時間の飲み物についても検討したい。
・京野さんの「おくの細道」の中で塩竈の地名を塩竈と入り混じっております。正しくは竈です。修正したほうがよいと思う。神社の名前では竈を使っておりますが。	・スライド及び配付資料は事務局で作成したものです。ご指摘有り難うございました。

### 基本集計

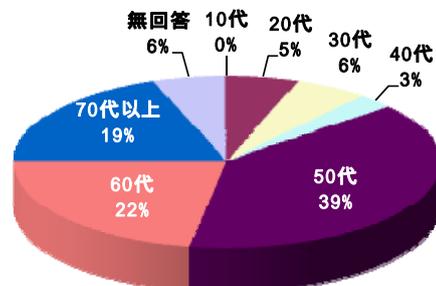
- ・会員以外の参加が多く、50代以上の男性が参加者の大半を占めている。
- ・職業は、会社員について無職が多い。
- ・宮城県内でも栗原市外からの参加者が半数を占めている。

### 問7.あなたご自身のことについて、お伺いします。

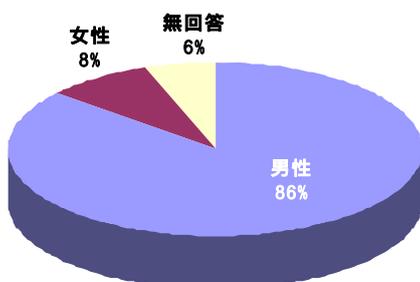
#### 「みやぎ街道交流会」の会員ですか



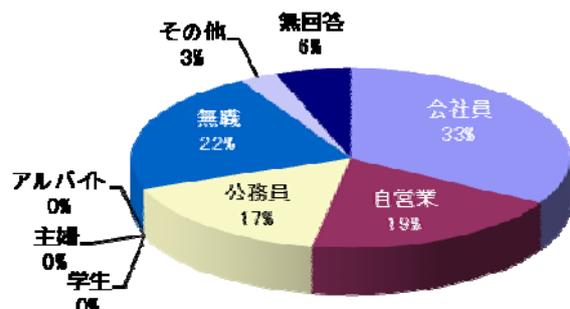
#### 年齢



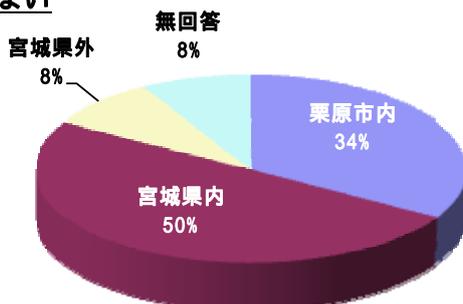
#### 性別



#### ご職業



### お住まい



## 2. 街道探訪会の参加者アンケート

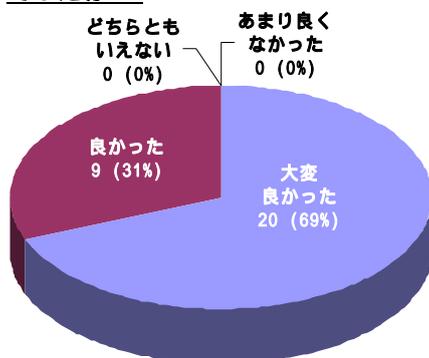
### 回収状況

- (1) 参加者数：55名（うちスタッフ18名）
- (2) 回答者数：29名
- (3) 回答率：52.7%（スタッフを含まない場合 78.4%）

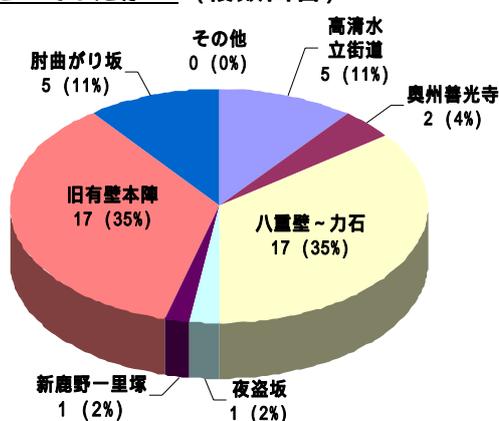
### 街道探訪会の感想

- ・内容についての評価は高く、約7割が「大変良かった」と回答している。
- ・印象に残った場所として、八重壁～カ石、旧有壁本陣がともに3割強となっており、保存や整備状況が良いことから好印象を得たものと思われる。

#### 問1. 「街道探訪会」の内容はいかがでしたか？



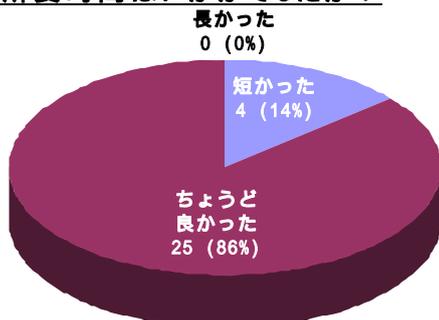
#### 問2. 本日一番印象に残った場所はどこでしたか？（複数回答）



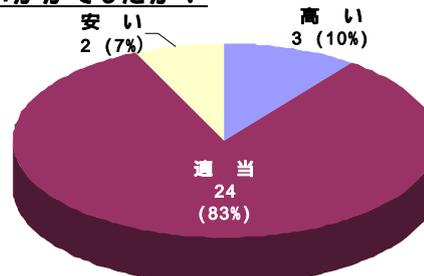
### 所要時間、参加費について

- ・所要時間については、「ちょうど良かった」が9割と多い。
- ・参加費については、「適当」が8割と多い。

#### 問3. 所要時間はいかがでしたか？



#### 問4. 「街道探訪会」の参加費はいかがでしたか？



**その他のご意見**

**問5. 「街道探訪会」に参加した感想や今後訪ねてみたい街道など、なんでもご自由にご記入ください。**

感想

<b>1)主に地元の方の感想に関するもの</b>
・地元の者でもよく分からなかった、良い勉強になりました。
・栗原の分からないところが未だ々あり大変参考になった。
・栗原市内ですが地元を見直す良い機会でした。
・ふるさとの今まで知らなかった光景を目にすることが出来て楽しい探訪会でした。
・近くに住んでいて知らないことを再発見した。
・大変良い勉強になった。
<b>2)説明に関するもの</b>
・説明が大変わかりやすくありがとうございました。
・奥州街道の難所と目されている部分、地図上で分からない部分を実地で体験出来て良かった。
<b>3)次回への期待に関するもの</b>
・奥州街道の今日に続きを楽しみます。会員でないですが、次回開催の際に連絡頂ければ幸いです。
・次回もこういう機会をお願いします。
<b>4)そばだんごに関するもの</b>
・そばだんごがおいしかった。
・昼食のそばぱっと美味しかったです。
・そば団子汁が良かった。今何でも食べられる世の中なのに、土地に伝わる昔からの食べ物をめったに食すことが出来ない。昔からの食べ物の再現は食文化の継承であり本当のご馳走である。
・そばだんご汁はおいしかった。
<b>5)その他</b>
・問2で6を選んだが、3.7も忘れられない体験となりました。(問2にカウント済み)
・準備頂いた栗原市の皆様、事務局の方々に感謝申し上げます。かなりの準備・予行演習されたのでは？
・(街道談義の)酒の多いのに吃驚した。

意見

アンケート意見	反省及び今後の対応
<b>1)コース設定、時間に関するもの</b>	
・出来る限り旧街道を足で歩きたい。 ・?はもう少し長い距離を歩きたいと思う。 ・もっと歩きたかった。 ・有壁本陣をもう少し長く見たかった。 ・区間をもう少し絞って1箇所当たりの時間を長くとる。 ・栗原全市の奥州街道を1日で体験するのは少し長い。 2コース程度に分けて案内した方が内容が充実し、より楽しくなると思う。	・日没時間(16時22分)を考慮し、15時の終了を16時として、肘曲がり坂からの徒歩コースを大沢田から一関市鬼死骸まで延ばすことにより、徒歩時間が30分から1時間に延び満足感が得られた可能性がある。また、旧有壁本陣での滞在時間も確保可能であった。 ・2コースに分ける提案については、現時点では充実した案内となるか不安がある。今後、くりはら街道会議が早期に設立し、街道と周辺の資源を組み合わせたコースの設定を行い、実施することを期待したい。
<b>2)バス内での案内に関するもの</b>	
・案内の方はバス1台に1人いた方がよい。 ・説明が分かりやすいようにバスは1台にしてほしい。	・大型バスだと1台で可能であるが、探訪ルート道路幅に不安がある。 ・くりはら街道会議や栗原市にガイドの養成を期待したい。
<b>3)街道探訪会後のあり方に関するもの</b>	
・探訪会を土曜日に行い、その感想、街道の活用法などを夜に談義したら、探訪会の意味もより有効になると思う。	・交流大会全体構成を踏まえて検討が必要である。 ・単に探訪会の場合は、極力実施すべきである。
<b>4)旧街道の保全と活用に関するもの</b>	
・草むらの中に埋もれた道がわびしい、鎌を持って刈り込みたいですね。	・市民参加によるくりはら街道会議を中心とした活動として期待したい。みやぎ街道交流会もそのための支援を検討したい。
<b>5)地域ビジネスに関するもの</b>	
・土地の産物がほしい。 ・1泊コース温泉付き、農家民宿などを含めて検討してください。	・地場産品の直売は今回の反省点であり、今後は実施を検討したい。 ・くりはら街道会議や栗原市では是非検討してほしい。
<b>6)訪ねてみたい街道に関するもの</b>	
・上街道の探訪会をお願いしたい。 ・笹谷街道、二口街道(を歩きたい)	・関係活動団体に呼びかけなど実施出来るよう検討したい。
<b>7)その他</b>	
・昼飯を持参しないでも済む方法を教えてください。	・地場米を使ったおにぎりを今後は検討したい。

## 大会開催までの歩み

### 平成19年8月4日(土)「旧奥州街道を歩いてみる会」

街道に興味がある市民、栗原市職員、みやぎ街道交流会やNPO法人奥州街道会議のメンバーの21名で、地元の兵藤さんと菅原さんにご案内頂き、旧奥州街道全路線の現状と課題の確認調査を実施しました。

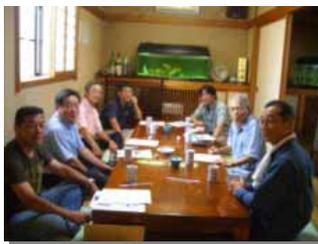


郷土料理“はっと汁”のお昼の後、みやぎ街道交流会の取り組みの説明や栗原市での街道交流大会開催を提案しました。

夜の街道談義は、農家レストラン・民宿“有賀の里 たかまった”で開催されましたが、江戸時代安政年間の料理本「大秘方萬料理方全」を見せて頂き、その内容にビックリしました。



### 平成19年8月18日(土) プチ「街道食談義 in 栗原」



8月4日に参加した有志(栗原市民、栗原市、みやぎ街道交流会)の8名が出席し、お昼を食べながら、くりはら街道会議設立世話人会の設置、「『みやぎ街道交流会』第1回交流大会 in 栗原」開催及びイベントとして市民の方々を対象とした「旧奥州街道探訪会」を9月下旬に開催することなどを決定しました。

### 平成19年9月23日(日) 若柳金成商工会まちづくり委員会

#### との意見交換会

共催の若柳金成商工会町づくり委員会の皆さんに準備状況の説明や探訪会参加記念グッズの打合せとともに意見交換を行いました。



### 平成19年9月24日(月) 昔の旅人氣分で『秋の味覚と時空の旅 奥州街道探訪会』



市民の方々35名をはじめ総員56名が参加して、栗原市の観光産業づくり事業のモニターツアー(共催「くりはら街道会議」設立世話人会)として実施されました。昼は、キノコなど秋の味覚がたっぷり入った芋煮を堪能するとともに、「みやぎ街道交流会第1回交流大会 in 栗原」のPRを行いました。街道を始めとする歴史資源の魅力を市民の方々に知って頂く良い機会になりました。

### 平成19年10月11日(木) くりはら街道会議設立世話人会議

くりはら街道会議設立世話人会とみやぎ街道交流会のメンバー10名が出席して、「『みやぎ街道交流会』第1回交流大会 in 栗原」の準備状況、「くりはら街道会議」設立準備と「くりはら元気発見コンテスト」(栗原市主催)応募状況について打合せを行いました。



### その他

- ・関係行政機関の宮城県(土木部、栗原土木事務所)、国土交通省東北地方整備局(道路部、仙山河川国道事務所)に対して説明を行い、協力をお願いしました。
- ・みやぎ街道交流会としての準備のため、役員会1回、事務局会議4回を開催しました。

平成20年2月2日に設立総会が開かれ「くりはら街道会議」が発足しました。



### 栗原 県内外の愛好家ら初の交流会



街道をテーマに交流した大会

# 街道の魅力 学び再発見

街道をキーワードに地一回交流大会「栗原」域づくりに取り組む団体を開いた。街道をテーマにする団体や人々の交流、連携を促す。街道をテーマにする団体や、歴史愛好家ら県内交流会（事務局・仙台市、外から百人余りが参加。高倉淳会長）は十七、十八活動内容や地域の歴史な八の両日、栗原市で「第1回」を報告しながら、交流

## 歴史や文化 詳しく報告

を深めた。初日は同市金成の「ほたるホール」で、東北歴史博物館前副館長の白鳥良一氏が、東北の古代史に占める栗原の役割を解説。「栗原は津令（りつりょう）国家とその支配を担った」と語り、松島町で活動する「おの細道松島海道」や、盛岡市に拠点を置くNPO法人「奥州街道会議」のメンバーらが地域での取り組みを紹介。栗原市の郷土史家らが、栗原の奥州街道の歴史や文化を説明した。

夜は栗原市若柳のウェットランド交流館で、江戸時代の古文書から復元した料理を味わいながら、街道談議に花を咲かせた。二日目は、栗原市高清水から同市金成までの奥州街道跡を歩き、歴史を探訪した。

みやぎ街道交流会は今五年五月に発足し、会員約五十人。交流大会は今後も毎年、県内で開催する予定。

# 江戸期栗原の食を再現

栗原市の若柳金成商工会（町づくり）委員会は、江戸時代の古文書を基に、百年前の栗原地方の食事を再現した。十七、十八日のイベントで披露する。先に行われた試食会での評判は上々で、町づくり委員会は「地域の名物に育てられれば」と意気込んでいます。

## 若柳金成商工会

料理再現の目玉は、術を掲載している。たのは、二年ほど前に、町づくり委員会委員長栗原市若柳の農家で見た。を彷彿と、郷土研究も手つた天竺豆腐料理方志。掛ける自営業小野寺健太と題する古文書。有賀村 郎さんが二年前に解（現栗原市若柳有賀）の読み、料理再現の準備を要員、千葉及左右衛門に、進めていた。十七、十八よる安政四（一八五七）日、古文書をテーマにした年の著作で、「秘伝玉屋 たみやぎ街道交流会」菓子作の「包丁のなまが栗原市金成で開かれるくさきを去法」といったことになり、江戸期の料理百六十八の料理・調理技術で交流参加者をもて

## 古文書を基に試作

なると、料理の再現が決まった。六日に若柳金成商工会であった事前試食会では、若柳地区の飲食店三店が調理を担当。「南蛮漬」「まんじゅう」「雁の煮物」「卵切（卵めん）」の四品を作った。古文書には「大さじ」といった分量や、加熱時間などの具体的な記載がなく、料理の出来具合は調理人の腕次第。ガンを鶏肉で代用せざるを得なかったほか、調味料が酒と砂糖だけで単純な味付けに限られたりもしたが、試食参加者からは「思った以上においしい」「見た目の料理と変わらない」といった声が上がった。

## あす街道交流会で披露



試食会で再現された菓の肴物や卵めんとした江戸時代の料理4品

十七日の交流会レセプションでは、さらに一品を追加して五種類の料理でもてなす予定という。町づくり委員会は「より食べやすいよう味付けを改良し、メニューも増やして、若柳の目玉の一つに育てたい」と話している。